



## リリースノート(参考資料)

AdRem NetCrunch 8

## AdRem NetCrunch 8 リリースノート

NetCrunch は AdRem Software が開発し所有する監視ソフトウェアである。  
株式会社情報工房は日本における総販売代理店である。

©2015 Johokobo, Inc.

## 目次

<b>1. 本資料について .....</b>	<b>3</b>
<b>2. NETCRUNCH 8 の新機能/変更点/修正点 .....</b>	<b>3</b>
2.1. バージョン 8.5.1.3312 .....	3
2.2. バージョン 8.7.1.3450 .....	4
2.3. バージョン 8.7.2.3466 .....	6
2.4. バージョン 8.7.3.3472 .....	6
<b>3. 既知の問題 .....</b>	<b>7</b>
3.1. レポートの文字化け .....	7
3.2. その他 .....	7
<b>4. よくある質問.....</b>	<b>8</b>
4.1. よくある質問および回答 .....	8

## 1. 本資料について

本資料では、AdRemNetCrunch バージョン 8.7.3.3472 日本語版(以下 8 )について記載しております。

## 2. NetCrunch 8 の新機能/変更点/修正点

NetCrunch 8 での新機能、変更点、修正点について記載いたします。

### 2.1. バージョン 8.5.1.3312

- 以下の監視センサーを追加
  - ・Application (Apache)
  - ・File (FTP, Windows)
  - ・Folder (FTP, Windows)
  - ・Monitor (Mailbox)
  - ・Query (DNS, Reverse DNS)
  - ・Web (Page)
- MIB データベースの検索の改良
- 100 以上の定義済み監視パック
  - ・NetApp の監視パックなどを追加
- 浮動小数点数でのパフォーマンス監視
- SNMPv3トラップの監視の追加
- イベントログに状態を追加
  - ・外部アラート(Syslog、SNMPトラップ、Windows イベントログ)の関連付け
  - ・内部アラートの自動クローズ
- しきい値監視イベントの改良
  - ・新しい条件タイプ(ベースラインしきい値、範囲)の追加
  - ・平均値の算出の改良
- ノードの設定画面の刷新
- Linux、BSD、Mac OS X のシステムビューの追加
- イベントログデータベースの改良
  - ・Unicode 形式に変更
  - ※NetCrunch 7 からバージョンアップする場合はデータの移行が必要です。
- イベントログビューの改良
  - ・サマリ、保留、履歴でのタブの切り替え機能を追加
  - ※全てのイベントログを表示したい場合は、[履歴]タブのビューに「全てのアラート」を選択してください。

- デスクトップ通知ウィンドウの改良
- 監視パックマネージャーの刷新
- 検索機能の改良
- 3,500 以上のコンパイル済みの SNMP MIB
- バックアップ機能の改良
  - ・フルバックアップと選択バックアップのオプションを追加
- 新しいアイコンを追加
- 新規ネットワーク検出時に「インフラストラクチャデバイスのみ検出」を追加
- アトラス作成後のルーティングマップの自動生成
- WMI ツールの刷新
- レイヤ 2 監視の改良
- Webhook アクションの追加
- ダッシュボードの改良
  - ・サマリ、NetCrunch ステータスの追加
  - ・トップチャートの改良
- ノードステータスの改良
  - ・ヘッダ部分に保留アラートの件数を表示
  - ・サイズの変更、最大化が可能
  - ・パフォーマンス表示の改良
- トレンドビューアにズーム機能を追加
- OpenSSL をバージョン 1.0.2 に更新
- アドミニストレーションコンソールの接続に使用するデフォルトのポート番号を 12009 に変更
- 全体的な UI の改良
- ネットワークサービス監視に高速監視オプションを追加  
※Premium XE の機能です。
- 下記の機能の削除
  - ・ネットワークサービス(DNS, FTP, HTTP, HTTPS, POP3, SMTP)の拡張監視
  - ・Windows イベントログ監視イベントの「全てのイベント」の監視
  - ・イベント定義のアプリケーショングループの設定項目
  - ・インストールウィザードでの Active Directory アカウントの選択オプション  
※NetCrunch のサービスはローカルシステムアカウントにてインストールされます。
  - ・監視タイプ的高速監視  
※主導サービスを 1 分未満の間隔で監視したい場合は、ネットワークサービス監視の高速監視オプションを利用することができます。

## 2.2.バージョン 8.7.1.3450

### 新しい機能と改良:

- 7 種類のデータウィジェットを追加
  - ・マップ上にライブパフォーマンスデータの表示が可能

- 以下の監視センサーを追加
  - ・File (HTTP)
  - ・Monitor (IMAP4、POP3)
  - ・Web (Basic HTTP)
- 以下の定義済み監視パックを追加
  - ・Exchange 2013 Client Access Role
  - ・Exchange 2013 Mailbox Role
- 自動フルスクリーンを追加
  - ・自動的にアトラスビューとビューページ(マップ、サマリ、トップチャート、フロー)をフルスクリーンで切り替え可能
- パフォーマンスチャート上のデータポイントの強調表示
- フローデータ監視機能の更新
  - ・sFlow のサポート
  - ・カスタムアプリケーションの分類
  - ・Cisco NBAR のサポート
  - ・フロー解析画面の追加
  - ・パフォーマンスを 1M フロー/分まで改良
- サマリダッシュボードの改良
  - ・監視パック、ネットワークサービスのタイルをクリック可能
- トップチャートダッシュボードの改良
  - ・トレンドビューアへの表示を簡略化
- センサーサマリの追加
  - ・サマリダッシュボードとノードステータスにセンサーのサマリを表示
- 以下のイベントログの定義済みビューを追加
  - ・DNS イベント
  - ・Email イベント
  - ・ESX/ESXi イベント
  - ・File/Folder イベント
  - ・SNMPトラップのみ
  - ・Syslog のみ
  - ・Web Page/HTTP イベント
- 最新の OpenSSH(>6.7)のサポート
- タッチスクリーンでの操作の改良
  - ・ダッシュボード上のタイルの並べ替え、ズームの操作を改良
- ノードアラートシグナルのオプションを追加
  - ・アラートベルの表示方法を選択可能(ノードに保留アラートがある、ノードに最近 24 時間で発生した未確認アラートがある)
- ネットワークサービスのタイムアウトの最大値を 60 秒に変更

**不具合の修正:**

- NetCrunch ノードの認証情報が設定されている場合のファイルとフォルダの監視を修正
- パフォーマンスレポートの不正な日付を修正

- 「Windows プログラムの実行」からカスタムフィールドパラメータの欠落を修正
- NetCrunch ノードの Windows イベントログ監視を修正
- 数千のカウンタを監視するノードのノードパフォーマンスビューの表示を修正
- 数百のインターフェースを持つ監視ノードのパフォーマンスの向上
- マップの編集に関する問題を修正
- マップを中央に配置するように修正
- 複数のノードを選択時にフィールドの編集が正しく反映されない問題を修正
- 複製した監視パック内のイベントを編集すると、複製元の監視パックのイベントも変更される問題を修正

## 2.3. バージョン 8.7.2.3466

### 新しい機能と改良:

- Basic HTTP センサーに HTTP ヘッダのみを確認する機能を追加
- グローバルカウンタ(Open Monitor とフロー)をデータウィジェットに使用可能

### 不具合の修正:

- 新しいフローが時々表示されない問題を修正
- Web アクセスのマップ上にてノードを選択できない問題を修正
- マップレイアウトが時々破損する問題を修正
- SMS メッセージにノード情報が欠落する問題を修正
- コネクションブローカーが時々サーバーへの接続とパスワードを失う問題を修正
- ノードが DOWN している場合、SNMP ロケーションフィールドが空になる問題を修正
- バージョン 7 以前で作成したアトラスのインポートを改良
- コネクションブローカーの自動開始オプションを無効化できない問題を修正
- Email センサー(IMAP4/POP3)関連の問題 - コンテンツ検索イベントが発生しない問題を修正
- コンソールが自動フルスクリーンモードの間、スクリーンセーバーを無効化するように修正
- 受信するフローフレーム(sFlow および NetFlow)のデコードを修正
- アドミニストレーションコンソールを閉じた際のエラーを修正
- Windows サービス状態イベント(停止および一時停止)が発生した際に保留にならない問題を修正

## 2.4. バージョン 8.7.3.3472

### 新しい機能と改良:

- フローサーバーは NetFlow ポート、sFlow ポートのどちらであっても NetFlow、sFlow プロトコルのデータを受信可能  
※ただし、正しいポートに設定することを推奨しています。

**不具合の修正:**

- ノードステータス上の監視パックの状態が、関連するイベントの保留状態に依存しない
- 大量のメモリの消費と安定性の改善
- いくつかの状況でトレンドビューアが応答なしになる問題
- CPU 使用率が 100%になるトレンドビューアの問題
- 「特定時間にノードは UP」のイベントのアラートが正常に動作しない
- 詳細ビューにて一部のサーバーのシステムタイプとドメインが取得できない
- Web アクセスはイベントの状態に誤った色を使用する
- IE にて Web アクセスを利用した場合、マップ上にアイコンが表示されない

## 3. 既知の問題

NetCrunch 8 での既知の問題について記載いたします。

### 3.1. レポートの文字化け

レポートを生成するマシンと閲覧するマシンの Windows のフォント環境が異なる場合、レポートに文字化けが発生します。Windows のフォント環境としては、主に Windows Server 2003 にて使用されている JIS90 と、主に Windows Server 2008/2012 や Windows Vista/7/8/8.1 にて使用されている JIS2004 がございます。

JIS2004 につきましては下記サイトをご参照ください。

Microsoft のサポートソース(フォント環境(JIS2004)について):

[http://www.microsoft.com/japan/windows/products/windowsvista/jp\\_font/jis04/default.mspx](http://www.microsoft.com/japan/windows/products/windowsvista/jp_font/jis04/default.mspx)

なお、JIS90 のフォントパッケージも用意されておりますが、JIS2004 環境にインストールしてもフォント環境を JIS90 に統一することができず、レポートの文字化けは解消されません。

また、スマートフォンなどにおいても、フォント環境が異なる場合には文字化けが発生する場合がございます。

### 3.2. その他

- アドミニストレーションコンソールが接続するポート番号を他の機能で使用しているポートに変更した場合、NetCrunch サーバーに接続できなくなる
- Web アクセスの権限の設定に、ポリシーのコンフィグレーションがある

- ネットワークサービスのカウンタをパフォーマンスビューに出力した場合、小数点以下が表示されない
- フロー解析のグラフにて、時間軸が正常に表示されない
- IE10にて Web アクセスを利用できない  
代替案:IE11 にバージョンアップする。
- Firefox、Chromeにて Web アクセスを行った場合、マップを表示した際にレイアウトが崩れて表示される  
回避方法:一度マップの[ノード]→[詳細]タブなどを表示したのち、再度[マップ]タブを表示する。
- Linux パフォーマンスのしきい値監視イベントにおいて、条件タイプに存在を設定した場合、しきい値違反状態となってもイベントが生成されない
- イベントメッセージ変換定義にカスタムフィールドのパラメータを使用した場合、パラメータが変更される
- 発生した「フォルダが存在する」のイベントが自動的にクローズしない
- File:Windows の監視センサーのデータの収集が停止する場合がある
- 一部の IP アドレスから SNMPトラップが送信された場合、SNMPトラップの内容を誤認識する
- File:Windows の監視センサーの「テキストログエントリ」のイベントが発生しない場合がある
- 仮想パフォーマンスカウンタが重複して表示される場合がある
- イベントメッセージ変換定義に\$Common.Stageを使用した場合、クローズ時のメッセージの\$Common.Stage が動作しない
- Windows イベントログ受信イベントの条件に\"\"(半角の ¥ マーク)を含んだ文字列を設定すると条件が変更される
- [ネットワークアトラス]→[ノード]→[詳細]タブに、ノードの総数が 1 つ多く表示される。

## 4. よくある質問

NetCrunch 8 でのよくある質問について記載いたします。

### 4.1. よくある質問および回答

- Syslog や SNMPトラップに日本語が含まれる場合、文字化けする  
回答:NetCrunch の表示する文字コードは Shift-JIS を採用しております。そのため、Shift-JIS 以外の文字コードの場合、日本語が文字化けします。送信側にて文字コードを Shift-JIS に変更する必要があります。
- Apache の監視において、ポート番号を変更した場合に監視が行えない  
回答:Apache はデフォルトのポート番号(80 番)のみ監視することができます。ポート番号の変更には対応していません。

- Web の監視において、同じ URL パスでポート番号が異なる場合に監視が行えない  
回答: 1 つのノードに対して、Web の監視で設定できる URL パスは一意でなければなりません。そのため、ポート番号が異なっているが、URL パスが同じ場合、設定することができません。
- ノードの DNS 名にアンダーバーや日本語を使用できない  
回答: バージョン 8 より仕様変更のため、使用できなくなりました。ファイルからノードの挿入を用いた場合やバージョンアップを行った場合、DNS 名にアンダーバーや日本語を使用している場合、プロパティの変更を行うことができません。
- アトラスの監視を無効化している状態でもレポートが送信される  
回答: 監視を無効化している状態でもタスクスケジューラが実行されており、レポートの送信についても、タスクスケジューラにて管理されているため、監視が無効化されておいてもレポートが送信されます。
- Web アクセス上に表示されないイベントログがある  
回答: Web アクセスでは、状態が「確認」のイベントログは表示できません。